

ムラマツ 100年史

西暦	和暦	孝一	はな	治	ムラマツ史	日本史・世界史
1898	明治31	0	-	-	4月12日、孝一、東京市牛込区（現新宿区）に誕生 画家を志し、画塾の葵橋研究所に通う	12/26 仏、キュリー夫妻、ラジウム発見
1909	42	11	0	-	4月26日、勝間はな、東京市瀧野川区瀧野川町（現北区滝野川）に誕生	5/20 「味の素」発売開始
1917	大正6	19	8	-	戸山学校入隊	5月 志賀直哉『城の崎にて』
1919	8	21	10	-	～軍楽生徒隊としてシベリア出兵に参加 ～チタで任務に就き、シベリアや中国東北部を巡回する	6/28 第一次世界大戦、ヴェルサイユ条約締結
1922	11	24	13	-	8月31日帰還命令、9月16日戸山学校帰還 フランス留学の必要性を感じ画家を断念 ～作曲家へ転向を検討するも周囲の反対で断念 修理の経験を活かし、日本初の国産フルート製作を決心する	7/7 「カルピス」販売開始 2/6 ワシントン海軍軍縮条約調印 11/1 トルコ革命 11/17 アインシュタイン来日 11/26 エジプト、ツタンカーメン王墓発見
					●国内のフルート人口はプロ・アマ合わせ20人ほど	
1923	12	24	13	-	3月31日戸山学校除隊	6/26 仏、第1回ル・マン 24時間レース
		25	14	-	4月1日、鑄掛屋をしながらフルート製作を開始 ～ミラノ社製フルートを解体して参考にする 震災の混乱を避け、八王子近郊、陣馬山頂の山小屋に疎開 ～3か月間、工作関係の本を読み、絵を描いて過ごす 東京へ戻り、牛込喜久井町に下宿 高円寺に住み、月の半分で鑄掛屋、残りの半分でフルート製作をする 大久保に引越すが、赤貧生活のため、戸山学校の同期の援助を受ける 工場街を回り、工員の作業風景を見て勉強する	9/1 関東大震災
1924	13	26	15	-	生活費を稼ぐために映画館の楽師（コルネット）、看板画家となる ～時にはピアノを弾き、さらに時代劇の場合は三味線も弾く 高円寺の映画館から、新宿の日活館（大幸館）、武蔵野館に移る 映画がはねた後の夜中、自宅の玄関の土間でフルート製作 秋、6か月（延 1,000 時間）かけて第一号のフルートを完成 ～第一号は明治大学の学生に売るが、没後一緒に火葬される	1/25 第1回冬季五輪が仏、シャモニーで開催 2/14 ガーシュウィン《ラプソディー・イン・ブルー》 7/31 阪神甲子園球場竣工
1929	昭和4	31	20	-	5、6年ほどの間は道楽半分に作り、希望する人に売る ～半年に1本、1年で3本程度の製作	10/24 ニューヨーク証券取引所、株価大暴落
1930	5	32	21	-	金銭的、精神的に最も困難な時期 当時国産品の無かったメトロノーム製作の企画に携わる フルート愛好家の友人、小松（樋口）愛子が留学資金提供を申し出る	1/21 ロンドン軍縮会議 4/10 銀座三越開店
1931	6	33	22	-	津田功が秩父丸のバンドに参加する際、楽器製作を依頼	秋 東北、北海道の冷害、凶作が深刻
1932	7	34	23	-	70数本の製作実績 銀座十字屋と取引開始	5/14 チャップリン来日 5/15 五・一五事件、犬養毅首相暗殺

1933	昭和 8	35	24	-	～その後、十字屋からのまとまった注文は途絶える	
				-	1832年ベーム式発明の百周年に合わせ岡村雅雄が東京フルートクラブを発足	
				-	～孝一が庶務を担当	
				-	11月30日に第一回発表会の開催を見届けて、孝一は退会	1/30 ヒトラー、ドイツ首相に就任
				-	40歳まで中野区鷺ノ宮で暮らす	3/27 国際連盟脱退
				-	生活が落ち着き、楽師を辞める	7/7 《東京音頭》発売されヒット
				-	～音楽鑑賞、絵画制作、友人交遊の余裕ができ、フルートの品質も向上	12/24 有楽町に日本劇場開場
				-	月間生産本数は3本に限定	
				-	フルート愛好家の上原群一郎と知り合う(父は東京音楽学校教授、上原六四郎)	
				-	～上原から「村松のところへ行けば何でも解決できるように」とのアドバイス	
1938	13	40	29	-	このころアルトフルート初製作	
				-	～アルトフルートの歌口の研究を基に波型歌口の製作開始	
				-	11月22日、孝一、勝間はなと結婚	4/1 国家総動員法公布、5/5 施行
				-	戦争が激しくなると、古い機械を売って生活費にあてる	9/29 ミュンヘン会議
				-	～戦争下でプラスバンド、鼓笛隊が増設され、フルートの需要増	
				-	日本管楽器(日管)が板橋に新工場建設	
				-	移転後の浅草の旧工場孝一が作業開始	
				-	～孝一の他に職人チーム(男性7名、女性3名)が製作にあたる	
				-	～真鍮製でキーの平らな日管フルートを製作	
				-	～同工場で大倉喜八郎の出資によりオークラウロも製作	
1940	15	42	31	-	このころ、月に7、80本フルートを製作したが、瞬く間に売れる	9/27 日独伊三国同盟成立
				-	工員と設備一切を日管に譲り、納品ごとに配当を受ける契約に更新	11/10 紀元二千六百年記念行事
1942	17	43	32	0	1月6日、治、誕生	7/1 関門鉄道トンネル開通
1943	18	45	34	1	金属類回収令施行により、蓄えていた材料で細々と製作を続ける	7/25 伊、ムッソリーニ失脚
1945	20	46	35	3	林リリ子注文の楽器を、空襲の中、はなは防空頭巾を被って届ける	3/10 東京大空襲(下町空襲)
					空襲により浅草の旧日管工場は灰燼に帰す	8/15 ボツダム宣言受諾、終戦
1947	22	48	37	5	～日管との契約も立ち消えとなる	10/24 国際連合発足
					野方の自宅は被害を免れ、準備していた新しい機械設備で再開	
1949	24	51	40	6	フルート愛好家の日野光雄、銀製フルート製作を依頼	5/3 日本国憲法施行
					～日野は孝一からもらった銀と一銭銅貨で銀板を自作	8/15 インドがバキスタンを分離し独立
1949	24	51	40	6	日野から依頼の楽器完成、孝一による戦後最初の銀製	11/3 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞
					株式会社大橋次郎商店(現株式会社プリマ楽器)と取引開始	6/25 朝鮮戦争勃発
1950	25	52	41	8	工場の人員を更に増やし、規模を拡大	9/8 サンフランシスコ平和条約締結
1951	26	53	42	9	このころ、大阪のソハマ楽器がムラマツフルートをアメリカに輸出	2/6 英、ジョージ6世薨去、エリザベス2世即位
1952	27	54	43	10	～アメリカからの難しい注文に応えるために苦労し、技術が向上	4/28 GHQ 廃止、日本の主権回復
					輸出先のシカゴのグロスマン社から月100本以上の契約申し込み	2/1 NHK 日本初のテレビ放送開始
1953	28	55	44	11		

西暦	和暦	孝一	はな	治	ムラマツ史	日本史・世界史
1953	昭和28				～当時の注残本数は150本 孝一担当の特別注文品は夜9時から4、5時間かけて製作 増産計画を立て、6月より工具数はそのまま3倍の生産体制を準備	11/3 小津安二郎『東京物語』公開
1954	29	56	45	12	波型の歌口が再流行し、改造を引き受ける ～依頼者の横顔の写真を見て、その人の唇の形に合わせて調整	7/1 自衛隊発足 11/3 映画『ゴジラ』第一作公開
1955	30	57	46	13	3月には月産100本可能となる 4月ごろ、NHK ラジオ、『明るい茶の間の時間に』の「この道三十年」に出演	4/18 アジア・アフリカ会議開催 12月 高度経済成長始まる
1956	31	57	46	14	4月11日、フルート一万本製作記念イベント ～12時45分から15分間日本テレビ『笛作り三十五年』に出演 ～午後、上野精養軒で「フルート10000号記念祝賀会」 ～吉田雅夫、林リリ子ら関係者200名集まる ～ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席のハンス・レズニチェックより祝辞 ～10000番の記念フルートは抽選で小林久夫にプレゼント	5/1 水俣病第1号患者公式認定 10/23 ハンガリー動乱勃発 12/18 日本、国際連合に加盟 12/26 シベリア抑留、最後の引揚船到着 12/28 新宿コマ劇場開館
			58	47	7月23日、NHK テレビ、『趣味を求めて』の「フルート誕生」に出演 NHK 所属の荒松志乃夫を講師に製作所の工具がレッスンを受講 一万本製作記念イベントを機にメディアへの露出が多くなり忙しくなる	
1957	32	59	48	15	有限会社村松楽器製作所に法人化 孝一の亡くなる数年前に銀製フルートの製作を本格化 ～銀のシームレスパイプがまだないので巻管で製作	12/11 百円硬貨発行
1959	34	61	50	17	●ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団来日 ●11月5日、同団フルートセクションを日本フルートクラブの懇談会に招く 関西フルート協会の発表会に合わせ比田井洵と関西旅行 ～京都で独立していた弟子、三宅啓子らに会う 工具15名（7名パーツ製作、8名は自宅で組立）、月産100本	1/1 メートル法施行 1/8 仏、ド・ゴール大統領となる 1/14 南極昭和基地、タロとジロ発見 9/26 伊勢湾台風、甚大な被害をもたらす 小澤征爾がプザンソン指揮コンクールで優勝
1960	35	62	51	18	●ボストン交響楽団来日 ●5月2日、同団のフィリップ・カプランを日本フルートクラブの懇談会に招く 6月6日、孝一、くも膜下出血（脳出血）のため死去 ～7日、通夜、8日、中野区野方町1丁目の自宅で密葬 ～11日、牛込柳町の宗円寺で業界関係者による告別式 ～吉田雅夫、岡村雅雄ら40名によるフルート合奏「精霊の踊り」で送る	7/27 経済協力開発機構（OECD）創設
			62		6月、はなが代表取締役就任 ～治は中央大学商学部の学生だったが中退し、製作を手伝う	
			-		8月、工場改築、洋銀製フルート月産約100本	
			-		残された工具が、専門家に教えを請おうと手紙を出す	
			-		～返信が来たのは吉田雅夫のみ	

1961	昭和36	-	52	19	吉田の勧めでフレンチタイプ（リングキー）の製作に着手 総銀製ハンドメイドフルート（国産第1号のリングキーフルート）完成 ～現在の総銀製、金製フルートに刻まれている製造番号の第1番目	1/20 米、ケネディ大統領就任 4/12 ソ連、ガガーリン、有人宇宙飛行 10/5 ビートルズ、レコードデビュー 10/22 キューバ危機
1962	37	-	53	20	6月6日、牛込柳町の宗円寺で三回忌、雷忌の第2回目 ～新宿三光町の大飯店に林リリ子ら約100名が集まる 6月、工場増築、月産200本の所を目標900本にする 7月、プリマ・フルートのモデル変更、アルトフルートの製作開始	
1963	38	-	53	21	1月11日、野方の工場焼失 ～楽器洗浄用ガソリンにガスストーブの火が引火し機械工場から出火 ～新築して間もない木造モルタル2階建ての内、約66平方メートルを焼く ～従業員1名が3週間の火傷、他2名が軽傷 1月21日、復旧工事が完了、通常営業に戻る 工場移転計画の一環として社内組織を改組 3月25日、営業部を切り離し村松楽器販売株式会社を設立	11/22 米、ケネディ大統領暗殺事件
		-	54		●ジュリアス・ペーカー来日	
1964	39	-	54	22	6月6、10、20日、日本フルートクラブと共催でペーカーのリサイタル開催 ペーカーより楽器製作指導を受ける 2月から全製品モデルチェンジを行い、価格改定 ～全ての機種にカーリング開始、台座設置、管厚変更 5月頃、所沢市松葉町に工場移転、野方は修理所及び連絡所となる ～都市ガスがひかれており、高温作業が可能となる 野方で楽譜部門を始め、一間半の間口に楽譜を並べて売る 第2工場新築 11月頃、製作所本社、野方町6丁目に移転 金製フルート第一号（管体14金、メカニズム銀製）完成	9/17 東京モノレール開業 10/1 東海道新幹線開業 10/10 東京オリンピック開催
1965	40	-	56	23	治、製作所専務取締役就任 6月、製作所本社、中野区野方町6丁目内で移転 ～代表者：はな、従業員数：45名 このころから「The Muramatsu Flute」を半円形に描く刻印となる また、このころから田中貴金属工業株式会社にシームレス管発注開始 ●4月、森平利男、モリダイラ楽器設立、7月、株式会社化	8/9 シンガポール、マレーシアより独立 10/2 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞 11/10 中国、文化大革命開始
1966	41	-	57	24	第2工場増築 販売会社を中野区野方町から新宿区柏木に移転 ～新宿区柏木1丁目（現西新宿）の美容院を改装、間口2間、奥行8間 6月5日、牛込柳町宗円寺で孝一七回忌 10月、本社を野方から所沢市松葉町に移転	3/31 日本の総人口1億突破 5/15 日本テレビ「笑点」放送開始

西暦	和暦	はな	治	明夫	ムラマツ史	日本史・世界史
1967	昭和42	58	25	-	<p>第1工場、第2工場合わせて建坪 990 平方メートル、従業員50名 生産、年間 5000 本 5月頃、フルートのブームが起き始める オーレル・ニコレ初来日、製作所を訪問 ●金 昌国、ムラマツのゴールドフルートで日本音楽コンクール優勝</p>	9/1 四日市ぜんそく訴訟
1968	43	58	26	-	<p>2月、総発売元をプリマ楽器からモリダイラ楽器に変更 ～モリダイラ楽器、修理の重要性を理解し、特約店制度を作る</p>	1/5 チェコ、プラハの春開始
1969	44	60	27	-	<p>6月、プラチナ製フルート製作開始 6月、ヨーロッパ各国を訪れ特約店契約を結ぶ ～レズニチェックの紹介で東ベルリンでヘルムート・ハンミツヒに面会 ～東独行は出版社ペータースの取り計らいで実現 ～バリでジャック・レフ(ルイ・ロット最後の工場長の息子)に面会 楽器商報 6月号に記事『若者はフルートがお好き!!』掲載 有限会社村松フルート製作所を株式会社村松フルート製作所に改組</p>	7/20 米、アポロ11号、有人月面着陸 8/27 映画『男はつらいよ』第1作公開
1970	45	61	28	-	<p>治、専務取締役兼販売会社社長、従業員 55 名、平均年齢 24 歳</p>	3/14 日本万国博覧会(大阪万博)開幕
1971	46	61	29	-	<p>1月、マルセル・モイーズの LPレコードを制作、販売開始 第1回楽器フェア、ハンドメイド総銀製フルートを一本のみ展示 4月8日、NHK 教育テレビで『フルート教室』放映開始(講師:吉田雅夫) ～放送を受けフルートブームがさらに高まる</p>	1月 世界経済フォーラム(ダボス会議)設立
1972	47	62 63	30	-	<p>6月3日、銀座のホテルでムラマツフルート第1回特約店研修会開催 販売会社より『フルートのための楽譜総目録』出版 新社屋が所沢市美原町に完成、旧社屋からは徒歩10分ほど ～敷地約 800 平方メートル、建て面積延べ 1300 平方メートル ～鉄筋コンクリート 4 階建て ～意思疎通を図るために3つの工場を1つにまとめる ～増産体制ではなく、品質向上をねらう</p>	2/3 札幌オリンピック開幕 5/15 沖縄返還 6/17 米、ウォーターゲート事件発覚
1973	48	64	31	-	<p>8月10、11日、第1回アメリカ・フルート協会第1回大会(アナハイム)参加 9月28日、モリダイラ楽器創立8周年記念パーティー開催 マルセル・モイーズ来日、11月13日、製作所訪問 ホワイトゴールド製フルート製作開始</p>	2/14 対ドル変動相場制移行 9/18 東西ドイツ国際連合加盟
1974	49	64 65	32	0	<p>4月16日、明夫誕生 総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数1万本達成 9月、販売会社、新宿区西新宿 8 丁目に移転</p>	
1975	50	65	33	1	<p>標準ピッチを A=440 から 442 に変更、国内初 SR、DN モデル製作開始</p>	4/30 ベトナム戦争、サイゴン陥落

1977	昭和52	67	35	2	3月1日、販売会社、名古屋市千種区都通3丁目に名古屋店開設 『ウォール・ストリート・ジャーナル』にムラマツが取り上げられる	4/21 ミュージカル《アニー》初演 7/14 気象衛星「ひまわり」打ち上げ	
1978		53	69	36	総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数2万本達成 販売会社、貿易部門を開設 18Kモデル製作開始	4/27 アフガニスタン紛争開始	
1980		55	71	38	6	製作所、はな社長以下従業員70名 基本機種12モデル、月産総数370本 ～総銀製、月平均230本、アルト、年間約40本 ～ハンドメイド200～250本、総金製、60～70本 ～当時の注残本数は600本以上 ～全輸出本数約120本の内、欧州50%、米国30%	9/22 イラン・イラク戦争勃発 12/8 ジョン・レノン殺害事件
1981		56	72	39	7	ADモデル製作開始	7/29 英ダイアナ妃、後のチャールズ3世と結婚
1982		57	73	40	8	6月5～8日、NAMM'82エキスポ(アトランタ)参加 8月27～29日、第1回日本フルート・コンベンション(つま恋)開催される ～孝一のフルート愛好者を増やすという願いがコンベンションという形で実現	2/8 ホテルニュージャパン火災 6/14 英・アルゼンチン、フォークランド紛争終結
1983		58	74	41	9	『季刊ムラマツ』創刊	7/15 任天堂が「ファミリーコンピュータ」を発売
1984		59	75	42	10	総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数3万本達成	8/30 米、スペースシャトル・ディスカバリー打ち上げ
1985		60	76	43	11	9Kモデル製作開始	8/12 日本航空123便墜落事故
1986		61	77	44	12	14K-SRモデル製作開始	4/26 ソ連、チェルノブイリ原子力発電所事故
1988		63	79	46	14	夏のセミナーにハンス・ペーター・シュミッツを招く	3/13 青函トンネル開業
1990	平成2	81	48	16	総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数4万本達成	この頃 バブル崩壊	
1991		3	82	49	17	ヘルムート・ハンミツヒを日本に招聘 6月16日、ジェームズ・ゴールウェイのマスタークラスを主催 販売会社、芦花公園事務所開設	2/27 クウェート、イラクの侵攻より解放 6/17 南ア、アパルトヘイト撤廃 12/26 ソヴィエト連邦崩壊
1994		6	84	52	20	4月、ムラマツ・メンバーズ・クラブ発足 5月21日、大阪、26日、東京でゴールウェイの公開レッスン開催 9月6日、販売会社、大阪市淀川区西宮原2丁目に大阪店開設 ～9月19日、村松楽器・大阪支店開設記念パーティー ～ヴォルフガング・シュルツ、アドリアン・コックス、デュオコンサート主催 PTPモデル製作開始	5/10 南ア、マンデラ大統領就任 6/27 松本サリン事件 12/11 第一次チェチェン紛争勃発
1995		7	86	53	21	アメリカ、デトロイトにムラマツ・アメリカ開設される	1/17 阪神・淡路大震災
1996		8	87	54	22	総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数5万本達成	2/27 ゲーム「ポケットモンスター」発売
1997		9	88	55	23	9月20日～23日、第1回ミュージック・キャンプを秩父ミュースパークで開催 11月15日、田無第一病院で療養中のはな、心筋梗塞により逝去 ～11月18日通夜、19日11時田無山総持寺大日堂で葬儀	2/22 クローン羊(ドリー)開発成功 7/1 香港返還
		-					

西暦	和暦	治	明夫	ムラマツ史	日本史・世界史
1997	平成 9			24 Kモデル製作開始	
1998	10	56	24	販売会社、インターネット・ホームページを開設 10月22日、エマニュエル・パユ、マスタークラス主催	2/7 長野オリンピック開幕 4/5 明石海峡大橋開通
1999	11	57	25	販売会社、芦花公園事務所閉鎖	9/30 東海村 JOC 臨界事故
2001	13	59	27	9月、横浜市西区北幸2丁目にレッスンセンター横浜開設	9/11 アメリカ同時多発テロ
2002	14	60	28	ドイツ、フライブルクにムラマツ・ヨーロッパ・センター開設される	10/15 北朝鮮拉致被害者5人帰国
2003	15	61	29	大阪店と同ビル内にムラマツリサイタルホール新大阪、オープン DSモデル製作開始	3月頃 中国、SARS が流行 12/13 イラク、フセイン大統領拘束
2004	16	62	29	3月2日、レッスンセンター横浜、西区北幸2丁目内で移転	10/23 新潟中越地震
2006	18	64	32	7月4日、新宿店、西新宿8丁目の現店舗に移転 10月1日、明夫が代表取締役役に就任 12月5日、治、死去	8/24 冥王星が準惑星に分類
2007	19	-	32	1月27日、「村松 治 お別れの会」を京王プラザホテルで開催	6/29 初代 iPhone 発売
		-	33	8月1日、名古屋店、千種区今池5丁目の現店舗に移転	
2008	20	-	34	18K-SRモデル製作開始	5/12 中国、四川大地震
2010	22	-	35	4月、村松孝一没後50年記念メモリアル・コンサートを東京、大阪で開催 ～当時ウィーン・フィル首席のヴォルフガング・シュルツをメイン・ゲストとして招く 9月19日、「次の50年を託す、小・中・高生に贈るメモリアルコンサート」を東京で開催 ～当時ウィーン交響楽団首席、カール＝ハインツ・シュツツらをゲストとして招く	6/11 アフリカ初のFIFAワールドカップ 南ア大会
2012	24	-	38	総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数8万本達成	5/22 東京スカイツリー開業
2014	26	-	40	24K-SR モデル製作開始	4/16 韓国、セウォル号事件
2015	27	-	41	9K-SR モデル製作開始	1/7 仏、シャルリー・エブド事件
2017	29	-	42	4月11日、レッスンセンター横浜、西区北幸2丁目の現センターに移転	1/20 米、トランプ大統領就任
2021	令和 3	-	46	製作所、工場敷地内に新社屋完成	7/23 東京オリンピック開幕
2023	5	-	48	製作所、創業100周年を迎える、従業員100名 総銀製、金製を含むハンドメイドのフルートの製作本数10万本達成 10月14日、ムラマツフルート100周年記念演奏会を東京で開催 ～ウィーン・フィル首席のカール＝ハインツ・シュツツによるリサイタルを実施	8/8 米、ハワイ、マウイ島山火事



ムラマツフルーツ100周年記念誌
100年の歩み

発行日—— 2023年10月14日

2023年12月1日 第2刷改版

発行所—— 株式会社 村松フルーツ 製作所
埼玉県所沢市美原町4-2964-1
〒359-0045

制作・編集—— 村松楽器販売株式会社

制作協力—— 株式会社 太田事務所

写真撮影—— 川窪良治・細川晃

印刷—— 株式会社 トミナガ

【継往開来】(けいおうかいらい)

先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くこと。

*The Muramatsu
flute*

since 1923